

三浦一馬 バンドネオンシネマII スペシャル
— 映画音楽 & ミュージカル映画特集 —

Program

映画「サウンド・オブ・ミュージック」

—— サウンド・オブ・ミュージック・メドレー
／リチャード・ロジャース(編曲:三浦一馬)

映画「レ・ミゼラブル」

—— オン・マイ・OWN (On my own)
／クロード・ミシェル・シェンベルク(編曲:萩森英明)

映画「オペラ座の怪人」

—— 主題曲／アンドルー・ロイド・ウェバー(編曲:萩森英明)

映画「フェリーニの8 1/2」

—— フェリーニの8 1/2のテーマ／ニーノ・ロータ

映画「若者のすべて」

—— 若者のすべて／ニーノ・ロータ

映画「ミッション」

—— ガブリエルのオーボエ／エンニオ・モリコーネ

映画「ニュー・シネマ・パラダイス」

—— ニュー・シネマ・パラダイス／エンニオ・モリコーネ

映画「ティファニーで朝食を」

—— ムーン・リバー／ヘンリー・マンシーニ

映画「ひまわり」

—— ひまわり／ヘンリー・マンシーニ

ほか

※曲目は公式サイトをご確認ください。
※都合により曲目・曲順などを
変更させていただく場合がございます。

絶大な人気を誇るバンドネオン奏者
三浦一馬がクラシック界を担うメンバーと
豪華サウンドで奏でる極上の80分。
今回はミュージカル映画の特集をお届けします。

ゲストにはクロマチックハーモニカ
山下伶さんをお招きし、
バンドネオンとハーモニカのダブルリードの
珍しいコラボレーションをお楽しみください。

Special Guest



クロマチックハーモニカ
山下 伶

KAZUMA MIURA
BANDONEON
CINEMA II Special



ヴァイオリン
西江 辰郎



ヴァイオリン
ビルマン 聡平



ヴィオラ
生野 正樹



チェロ
奥泉 貴圭



コントラバス
高橋 洋太



ピアノ
山田 武彦

2024. 10.25 [金]

19:00 開演 18:30 開場 ※休憩なし80分

● 浜離宮朝日ホール

主催: 朝日新聞社/浜離宮朝日ホール/合同会社 Moon
問い合わせ先: Milt 03-6265-3201 (平日 12:00~17:00)

スペシャルシート(限定数) 良席・ポストカード付き 6,500 円(税込)

S席 5,000 円(税込)

※未就学児入場不可
※託児サービスをご利用ください。イベント託児・マザーズ(要予約)0120-788-222

- ◆ ローソンチケット <https://l-tike.com/miura-bandoneon2/> ※PC/ スマートフォン共通 (Lコード:33124)
- ◆ チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/miura-bandoneon2/> ※PC/ スマートフォン共通 (Pコード:275-200)
- ◆ イープラス <https://eplus.jp/miura-bandoneon2/> ※PC/ スマートフォン共通
ファミリーマート店内端末にて一般発売日以降直接購入可能
- ◆ 朝日ホール・チケットセンター 03-3267-9990(オペレーター対応 日・祝除く 10:00~18:00)
<https://www.asahi-hall.jp/hamarikyuu/>
- ◆ MITT TICKET 03-6265-3201(平日 12:00~17:00)

※各種プレイガイド(ローソンチケット・チケットぴあ・イープラス・MITT TICKET)にて座席選択可能

MOON
PRODUCTIONS

三浦一馬 バンドネオンシネマII スペシャル

— 映画音楽&ミュージカル映画特集 —

三浦 一馬 Kazuma Miura, Bandoneon



10歳よりバンドネオンを始める。2006年に別府アルグリーチ音楽祭にてバンドネオンの世界的権威ネストル・マルコーニと出会い、その後自作CDの売上で渡航費を捻出してアルゼンチンに渡り、現在に至るまで師事。2008年10月、イタリアのカステルフィダルドで開催された第33回国際ピアソラ・コンクールで日本人初、史上最年少で準優勝を果たす。

2011年5月には別府アルグリーチ音楽祭に出演し、マルタ・アルゲリッチやユーリー・バシュメットら世界的名手と共演し、大きな話題と絶賛を呼んだ。

2014年度出光音楽賞受賞。既成の概念にとらわれない意欲的な取り組みや、バンドネオンの可能性を追求する真摯かつ精力的な活動ぶりが2010年9月NHK「トップランナー」に取り上げられる。

2016年はデビュー10周年を迎え、7月には大阪フィルハーモニー交響楽団第500回定期演奏会でバカロフの「ミサ・タンゴ」のソリストに抜擢され好評を博す。

2017年、ドイツにてドグマ・チェンバーオーケストラとマルコーニ作曲の「カーメラタンゴス」で共演。また自らが率いる室内オーケストラ「東京グランド・ソロイスト」を新たに結成し、さらなる活動の場を拡げている。

2021年、ピアソラ生誕100年に合わせて、東京グランド・ソロイストとしての初音源「ブエノスアイレス午前零時」をリリース、同時にピアソライヤーを記念した全国ツアー公演の開催。2022年12月にピアソライヤーの最後飾新譜「三浦一馬五重奏団『ピアソラ スタンド・バイ・ヒム』」を発売。

また、NHK大河ドラマ「青天を衝け」の大河紀行音楽演奏を担当するなど若手実力派バンドネオン奏者として各方面から注目されている。

使用楽器は、恩師ネストル・マルコーニより譲り受けた銘器、Alfred Arnold。

生野 正樹 Masaki Shono, Viola



1978年大分県出身。14歳よりヴィオラを始め、大分県立芸術緑丘高校を経て、洗足学園音楽大学を首席で卒業、同大学大学院修了。

内田博、岡田伸夫の各氏に師事。ザルツブルク・モーツァルト国際室内楽コンクールにて第2位入賞。日本演奏連盟のオーディションに合格、九州交響楽団と共演。ソロアルバムを三枚、四枚組BOXCD「ノスタルジック・メロディーズ」をWanar Music Japanより発売。

これまでに東京フィル、東京シティフィル、神奈川フィル、広島交響楽団、山形交響楽団、大阪フィル、仙台フィルなど全国の主要オーケストラに客演首席として参加。2016年は活動を一時休止しドイツへ留学。

2019年天皇陛下即位祝賀式典オーケストラにてソロヴィオラ奏者を務めた。現在はオーケストラへの客演を中心に室内楽、ソロ活動、また、葉加瀬太郎ツアーや様々なジャンルのレコーディングに参加。石田組、トリオAXIS、第21弦楽四重奏団、東京グランドソロイストメンバー、RENTARO室内オーケストラ九州ソロ首席奏者。

奥泉 貴圭 Takayoshi Okuizumi, Cello



札幌出身。東京芸術大学附属音楽高等学校を卒業後、ドイツ・トロツィンゲン音楽大学を経て、2007年より2年間バイエルン国立劇場の契約団員として研鑽を積む。

1998年札幌ジュニアチェロコンクール優秀賞、2004年ビバホールチェロコンクール2位、2006年度文化庁在外研修員。その他、国内外数々のコンクールで入賞。

2009年に帰国後、2016年まで上野学園大学講師を歴任。小澤征爾・スミス・インターナショナルアカデミー、小澤征爾音楽塾オーケストラ、サイトウキネン室内楽勉強会、水戸室内管弦楽団、紀尾井シンフォニエッタ、

東京春音楽祭、石田組、高嶋ちさ子 with SuperCellists、めざましクラシックスなどに参加。現在はソロ、オーケストラ客演首席、室内楽、レコーディング、TV出演、ライブサポート、トリオAXIS(弦楽三重奏)・福井ハーモニーホールのレジデントトリオとして国内各地で活動中。

山田 武彦 Takehiko Yamada, Piano



東京芸術大学大学院作曲専攻修了。1993年フランス政府給費留学生としてパリ国立高等音楽院ピアノ伴奏科に入学、同クラスの7種類の卒業公開試験を、審査員の満場一致により首席で一等賞(ブルエ・プリ)を得て卒業。フランスの演奏団体である2e2m、L'itineraire、Triton2等でソリストとして演奏し、現代音楽の紹介を務める。帰国後はピアノistとして数多くの演奏者と共演、的確でおおらかなアンサンブル、色彩豊かな音色などが好評を博し、コンサート、録音、放送等の際のソリストのパートナーとして厚い信頼を得る。東京芸術大学招聘教授を経て現在同大学音楽文化学所属(ソルフェージュ分野主任)、洗足学園音楽大学客員教授。全日本ピアノ指導者協会正会員、日本ソルフェージュ研究協議会理事、日本ピアノ教育連盟会員。2017年より浅草オペラ100周年記念企画「ああ夢の浅草」にて音楽監督を務め、全曲の作・編曲を担当、浅草「東洋館」他にて上演を行う。

西江辰郎 Tatsuo Nishie, Violin



新日本フィルハーモニー交響楽団コンサートマスター及び、久石譲 Future Band バンドマスター。幼少期より辰巳明子氏に師事し、桐朋学園ソリストデュプロマコース修了。スイスに留学しティボー・ヴァルグ氏に師事。メソッドを継承する。室内楽を安永徹、市野あゆみ各氏に師事。

2001年、仙台フィルのコンサートマスターに抜擢されSPC大賞、セレーノ弦楽四重奏団にて録の風音楽賞、松尾音楽助成などを受賞。05年より新日本フィルコンサートマスターに就任し、ソリストとしてもクリスティアン・アルミンク、ギンター・ビヒラー、外山雄三、ダグラス・ボストーク、佐渡裕らの指揮のもと国内外のオーケストラと共演。ミッシェル・マイスキー、ジュゼッペ・アンドローロらとの室内楽や各地の音楽祭にも招かれている。マレーシア・フィルやNHK交響楽団にゲスト・コンサートマスターとして出演。16年「題名のない音楽会」にピアノの上原ひろみとゲスト出演。6弦エレクトリック・ヴァイオリンにて久石譲の「室内交響曲」のソリストを務め、世界初演。

20年、21年にはHiromi Piano Quintetのメンバーとしてブルーノート東京にて「Save Live Music Returns」に出演。Fuji Rock Festivalへの出演や全国ツアーを行った。ディスコグラフィも多く、いずれも好評を博している。

ビルマン聡平 Sohei Birmann, Violin



兵庫県神戸市出身。東京藝術大学音楽学部を経て、スイス・ローザンヌ高等音楽院卒業。同大学院修士課程修了。

ローザンヌにおいて Sinfonietta de Lausanne のアカデミー課程修了。山本彰、工藤千博、澤村樹、清水高師、ビエール・アモイアルの各氏に師事。8歳で京都音楽コンクール金賞奨励賞。

全日本学生音楽コンクール(中学の部)第3位入賞。日本演奏家コンクール優勝。YBP 国際コンクール優勝。大阪国際コンクール第3位入賞。

2016年入団。新日本フィル 首席第2ヴァイオリン奏者。

高橋 洋太 Yota Takahashi, Contrabass



桐朋学園大学卒業後、2006年に同研究科修了。同時に東京都交響楽団に入団。2005年青森市民文化顕彰受賞2007年東京・青森にてデビューリサイタルを開 催し絶賛を博す。2016年、デビュー10周年のリサイタルでは「楽器に対して非常に慎重に、そして楽譜に対して謙虚に對待する」(音楽の友2016年12月号)と評された。これまで、セイジ・オザワ松本フェスティバル、東京・春・音楽祭、霧島国際音楽祭、アフィニス夏の音楽祭はじめ、各地の音楽祭に度々出演している。現在、東京都交響楽団奏者として活動するほか、チョン・ミンフン指揮アジア・フィルハーモニー管弦楽団や各地のオーケストラに首席奏者として招かれている。

また、バンドネオンの三浦一馬氏率いる五重奏団他、東京グランド・ソロイスト、久石譲氏プロデューサー、FutureOrchestraClassics、MusicFutureなどにおいて、メンバー及びソリストとしての演奏を始め、雑誌「Tarzan」にて、音楽家としての身体のメンテナンスを紹介するなど、その活動は多岐に渡る。2022年3月にはコントラバスでは初録音となるピアソラ作曲の「タンゴの歴史」を収録した自身のアルバムをリリースする。

Special Guest

山下 伶 Rei Yamashita, Chromatic Harmonica



埼玉県出身。桐朋学園芸術短期大学音楽専攻(フルート)卒業。卒業後クロマチックハーモニカの音色に魅せられ、日本を代表するクロマチックハーモニカ奏者の徳永延生氏に師事。2014年第34回F.I.H.JAPANハーモニカ・コンテスト総合グランプリ受賞。2016年には、ビクターエンタテインメントよりアルバム「Beautiful Breath」でメジャーデビュー。2018年に発売したアルバム「Dear Darling」がジャズ専門雑誌JAZZ JAPAN AWARD 2018制作企画賞受賞。2018年第6回、2019年第7回ソウル国際ハーモニカフェスティバルに審査員、ゲストプレイヤーとして参加。WOMEN IN JAZZ VOL.9、「銀河鉄道999」シンフォニック・コンサート、第51回サマージャズなどに出演。2021年4月、5枚目のメジャーアルバム「Fantastic Films」を日本コロムビアよりリリース。2022年には、横浜・関内ホール、愛知県芸術劇場、バルテノン多摩でソロコンサートを行い大好評を得た。

本田雅人、B.B.Station、寺井尚子、東京フィルハーモニー交響楽団、川中美幸、福田こうへい、いちむじ、吉川忠英、藤澤ノリマサ、ベイビーズ、NAOTOなど国内外の様々なアーティストとの共演も多い。「題名のない音楽会」「天才てれびくんhello,」などメディアにも多数出演。また、出身地、埼玉県春日部市の春日部南中学校の校歌の作詞、作曲を担当している。クラシック、ポップス、ジャズ、ラテン、映画音楽、歌謡曲のジャンルを問わず多彩なレパートリーにアプローチし、いずれも高い評価を得ている。

2023年2月15日に初のセルフプロデュースアルバム「GoodTimeGoodMusic」を日本コロムビアよりリリース。